

～白井貴子 環境コラム（第14回）～

生ごみ軽減「木の実の皮は土に戻そう！」

先日のワールドカップ、日本対クロアチア戦は本当に残念でした。  
サッカーはいいですね～。

実は私、遥か昔50年も前の小学生の頃、神奈川県的女子サッカーの選手でした。

あの「なでしこジャパン」よりも早い！大地をステージにゴールへと駆け昇るワクワク感、そして試合ブレイクの時、母が用意してくれた「砂糖漬けのレモン」の甘酸っぱい香りに一気に元気になり「後半戦も頑張ろう！」と思ったあの瞬間は素晴らしい記憶です。

なので、我が森「南伊豆マーガレットグラウンド」※にも15年ほど前にレモンの木を植えましたが、今年は沢山実って思わず拍手！  
ところで今年も早、師走。忘年会で「飲み過ぎ・食べ過ぎ」な方も多いかと思います。

そんな時の妙案「無農薬のレモン」を使って「塩レモン」を作ってビタミンCとミネラルを補給してくださいね！

絞った後の皮は「お風呂」に入れてバスタイム「あ～いい香り！」  
最後の最後はそのレモンの皮を庭の土の中に戻します。これで完了！

誰にも食べてもらえず土に落ちている蜜柑類の実を見るたび  
「戦争をしている国もあるというのに、なんと幸せな国なんだろう！」  
とため息溢れる地球時間。

レモンの皮を土に戻すことはとても自然なことです。

お茶っ葉も、栗の皮もみんなみんな同じ。

「お節料理」を作る時もそんな気持ちで自然と向き合ってもらえると嬉しいです。どうぞ良いお年を！



※「南伊豆マーガレットグラウンド」

白井貴子のキャンプ場、ここ数年は子供達の自然学習や自身が主催する「PEACE MAN CAMP」に利用されている